

可能性

市原市立市原中学校 三年 沈 藍琳

「将来、何になりたいの？」

小さい頃、母や祖父に聞かれたことがあります。私は「飼育員さんになりたい。あーでもやっぱり面白い絵本を作れる人がいいかな」とあれやこれや思いつくままに答えていました。小学生、中学生になるにつれ、考え方や見方が変わり、私の夢も変わっていきました。自分の将来を考えるのは大きいことでとても難しいです。少し前の私はその質問に答えるとしたら「わからない」、でも今の私なら「なんにでもなれる」と答えます。

そう思えたきっかけは友達と連想ゲームをしながら下校していたときです。私のターンでお題は宇宙になっていました。

「宇宙といたら無限」

と答えました。私は勝ちを確信しました。ほかに無限なものはもう出たから答えられないだろうと思ったからです。すると友達は

「無限といたら可能性」

と答えました。驚きました。その答えは私に私の可能性は無限大で未知なんだよと教えてもらった気がしたのです。

「将来、何になりたいの？」

この質問に対する答えが見つかった瞬間でした。

「夢を見ることができれば、それは実現できる。」

これはウォルト・ディズニーの有名な言葉です。「目標をもって努力をし、続けていけば必ず願いはかなう。だから、恐れなくてたくさんの方に挑戦していこう。」という、私へのメッセージだと感じました。将来、夢をかなえるためにはそれに相応した、努力が必要です。しかし、夢を見なければ努力することも実現することもできないとこの言葉を知って改めて思いました。

夢を語ることは簡単でかなえることは難しいです。だからこそ私は挑戦して

みたいです。攻略方法もなく、正解也没有せん。私は自分の白紙の地図を今、旅してみたいです。思いがけない出会いがあったり、壁にぶち当たったり、時には後悔が残ったりするかもしれません。そんな時、周りに頼ったり助けられたりして学び、私たちは大人になっていきます。

将来の夢は決めなくてはいけないものではないと思います。もちろん、夢のある人はキラキラしていてかっこいいです。まだ夢がない人はこれから探してゆっくり自分を知っていけばいいのです。私も、たくさんすることにチャレンジして自分を知っていきたいです。私は自分の苦手なこと、得意なこと、夢中になれること、他にもたくさん知らなければならないことがあります。自分を試し、自分の可能性を広げていきたいです。世界の八十二億人の中で輝くのではなく、私自身が輝いていると思えることが大切です。何者でもない今の私だからこそなんにでもなれる。私には無限の可能性があるので。きっとあなたにも…。